



吉子川



令和7年2月10日(月)
 学校だより NO. 69
 中島村立吉子川小学校
 発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコッピ】

吉子川小学校
 のあやめの花に
 住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの
 十か条 (2月)

説明は筋道立てて伝わるように
 相手意識でみがく表現力

◇ 大丈夫ですか？使用状況を把握していますか？～オンラインゲーム、SNS～ ◇

昨今、インターネットを利用したSNSやオンラインゲームでのトラブルが増加しています。具体的には、「フォートナイト(対象年齢15歳以上)」などのゲーム名があがっており、こうしたゲームはプレイヤーが生き残って勝者になるために、武器や仲間を見つけて戦う戦闘ゲームです。また、SNSでは、LINEが小学生の中でも広まっており、保護者の管理できない使い方の中で、友達関係において心配な情報が寄せられることがあります。本校でもあります。

以下のような点が全国的にも、本校においても問題になってきています。推奨対象年齢に達していない小学校の児童に利用させる場合は、ご家庭で保護者の管理・責任のもと、以下のような問題点を認識した上、監督・指導をお願いします。

オンラインゲームの使用によって

- ボイスチャット機能を利用し、ゲーム中に攻撃的な言動をとる。
 - 日常生活や学校生活でも暴力的な言葉や差別的な言葉をつかう傾向が強くなる。
 - 攻撃的な言動で「いじめ」を誘発する懸念が多にある。
- 不特定多数の人と知り合いになる。
 - 個人情報や漏らしたり交友関係が広がったりして、トラブルに巻き込まれることがある。
 - オンラインゲームを接点とした小4女児誘拐事件が発生した。
- 中毒性があり止められなくなる。
 - 最後まで勝ち残るために夢中になり、時間を忘れてゲームに没頭してしまうことがある。
 - 昼夜逆転になり、生活習慣が乱れ、授業に集中できないことがある。
 - 不登校や引きこもりの要因にもなりかねない。



LINE等のSNSの使用において

- 子供相互が正しい人間関係を築きにくい状況になる。
 - 仲間外しや人の中傷を書き込み、心理的に深刻な状態に陥られる。
 - 「いじめ」を誘発し、表面化しにくい状況を招く。

◇ スマホを子どもに与えるということ ◇

実は本校でも、スマホを介した友達関係のトラブルや、スマホによる生活習慣の乱れ(睡眠不足等)の事案が、まだ数は少ないものの発生しています。そのほとんどは、スマホの使用について「約束がない」や「約束が守れていない」ことが背景にあるようです。ある講演会で「中学生は、頭では理解していても実際の行動が伴わないことがあります」との話を聴きました。

中学生ですらそうなのですから、小学生にスマホを与えることを考えられている場合には、保護者の皆さんにはスマホの良さや危険性の両面を今一度理解していただきたいです。そして、まずは「本当に今、必要なのか。」を検討されてください。その上で、使用や所持を許可される時には、必ず「使用の約束を設定すること」、「約束が守れなかった時のことを決めておくこと」が大切です。それが、ネットを介したトラブルや生活習慣の乱れから、我が子を守ることに繋がっていくはずです。

